

ICT教育の理論と方法 第13回



ICT機器を効果的に活用した実践と発表③

山梨大学 教育学部 准教授 稲垣 俊介

この授業のお約束

- 自分から動いてアクティブに学んでください。
受動的だけでなく、能動的に参加してください
- この授業内でのインプットは少なく
皆さんのアウトプットの共有が多い授業内容です。
- 意識してPCとスマホを駆使してみましょう。

最終課題

これまで本講座で学んできたことをふり返り、それを踏まえて「あなたがどのような教員になりたいのか」をまとめてください。締切は2026年1月25日です。

タイトルを必ずつけ、章立てを行ってください。分量は3000字以上とします。提出ファイルはWordファイル (.docx) のみ受け付けます。PDF、Google Docs形式、画像などは不可です。

文章は、中学生でも読める読みやすさを心がけてください。ただし内容が軽くなる必要はありません。読み手が誤解しないよう、明確で論理的に書いてください。文体は「です・ます」「だ・である」どちらでも構いません。

根拠のない思い込みではなく、文献や授業で扱った内容を必ず引用してください。文献の引用は一般的な引用ルールに従ってください。授業内容を引用する場合は、以下のように授業名と回数を明示してください。

例：「第8回授業において稻垣は「～～～」と説明した。」

最後に、この授業を通して「どのような教員を目指すのか」を明確に述べてください。

あなたの名前は削除し、今後の後輩たちに見せる参考レポートとして使用しようかと考えています。
理由の如何にかかわらず、遅れての提出は受理しません。

提出開始日（1月19日）から書き始めると間に合わない可能性が高いため、各自で計画的に作業してください。
最終授業（1月19日）には、レポート作成のヒントをお伝えします。



自由課題

自身で作成した「情報モラル」「情報活用能力」を育む授業について紹介する発表してもらいます。
発表日は12月8日、15日、~~22日~~です。

- 発表は必須ではありません。発表した人には必ず加点します。
- 発表時間はこれからのアンケート結果で変更します。
- 発表日、発表を希望される人は、みなさんから見て左側一番前から右に向かって座ってください。
- スライドの表紙と最後にお名前と学生番号を大きく見やすいフォントで記してください。



発表予定者

12月22日

発表したい人は
他にいますか？

講義のカリキュラム

1. リフレクション紹介

2. 授業の紹介発表

3. 講師からの授業紹介



発表者へのコメント

発表者へのコメント：

情報モラルを何でもかんでも教わるというわけではなく、なぜ情報モラルという教育が必要なのかも伝えることで意義を知らせることが出来るのでいいと思った。只もっと実例が欲しいと思った。

発表者へのコメント：

地理という一見情報モラルと関わりがなさそうなものを情報モラルの授業として使っているのが斬新だった。情報の集め方を学ぶ体験学習を取り入れているところが面白いと感じた。チャットGPTの作った資料を混ぜることで生徒を混乱させたり、情報の信ぴょう性について考えさせたりするのが良いアイデアだと思った。



発表者へのコメント：

文科省の言葉を引用しつつ、自分の意見がうまく組み込まれている点がいいなと思いました。ラインではついつい文を省略しがちだから、どこが誤解を生むポイントであったかを説明するだけでなく、具体的にどう補えばよいかを説明しているところもわかりやすいと思いました。最近は、個人情報を公開することにより、住所などが漏れるというリスクだけでなく、アカウント乗っ取りなどの被害が多いため、それを説明しているのも良いし、なぜ個人情報を公開してはならないのかということを具体的に学ぶことができる点が良いなど感じました。

発表者へのコメント：

「実用的な文章」というドライヤーの説明書やチラシといった角度から情報を捉えていくことで体感しやすいし、班活動を多くとることで理解が深まると感じた。説明の文章を読めない人が多い(増えた)という話もある中でそれを持ってきて授業にしていることが良いと思った。授業で取り扱わなければなかなか細かく読む機会のないものもあるから、その大切さを伝えられて効果的だと感じた。

発表者へのコメント：

スマホを持ち出した中学生に陥りやすい問題を身近なものに感じさせ、理解を深める良い授業だと思った。コンテンツ依存、つながり依存の2つがあること、性別によって傾向があることは自分も知らなかつた。お疲れさまでした。



稻垣の授業へのコメント

稻垣の授業へのコメント

政治家になったつもりで情報社会を考えるという生徒が興味を引きそうな内容がとても面白ううだと思いました。仮想の内容が、実際の社会と結びついていて考えやすい工夫もあり、生徒が主体的に学べる内容だと感じました。自分の立場になって考えることで情報を自分のこととして捉えられるように導入が組まれていると思いました。プレゼンテーションなども授業の内容に含まれているため、話す力も身に付くので、様々な力がつくる授業だと感じました。

稻垣の授業へのコメント

まず内容の選定が自分たちが興味の引くものが選ばれていて、こうしたネタ探しも改めて大切だと感じる。また、グループワークもしてもらいつつ、選挙によるメリット・デメリットを、先生側からも挙げて生徒は二重に考えさせられる仕組みで、この授業を受ける生徒は、当事者意識を持って様々なことを考えながら受けれるのではないかと感じた。また、情報やネットなどの漠然とした範囲ではなく日本という具体的で、なおかつ壮大なスケールで、その国民の将来について語るという話の大きさも授業に引き込まれる要因であると考えられる。

稲垣の授業へのコメント

先生の授業実践は導入がとても丁寧なことに気づきました。なぜこの問題を取り扱うのか、どのような授業がこれから展開されていくのかのイメージがしやすく、生徒が授業を受ける姿勢をつくりやすいと思います。また具体的なワークが多く、抽象的な内容を具体的に想像し自分事として考えることができ、授業から生活への内容の反映がされやすいと感じます。

稻垣の授業へのコメント

先生がおっしゃっていた高校までは専門的な知識よりも全体的な教養を教科横断的な学習を通して教えた方がいいという意見になるほどと思い、分野と分野が混じり合うことによって片方ではわからないものが解決できたり新たな発見が生まれたりして視野がさらに広がって面白いと思った。

自由課題

自身で作成した「情報モラル」
「情報活用能力」を育む授業について紹介する発表してもらいます。

発表日は12月8日、15日、22日
です。

- 発表時間は5分です。
- 交代を含めてお一人の時間は6分でこちらで切れりますね。

12月22日

242365 笹本ひより

240415 長坂大成

230486 福島小晴

240002 阿藤菜々子

講義のカリキュラム

1. リフレクション紹介

2. 授業の紹介発表

3. 講師からの授業紹介

講義のカリキュラム

1. リフレクション紹介

2. 授業の紹介発表

3. 講師からの授業紹介



- 10年前くらい前に作成したオリジナルの授業です。
- 当時、他教科との連携と「情報活用能力の育成」を検討しこのような授業を作っていました。

なぜ○○しなければならないか 「市場」と「情報」から考えよう

情報で学ぶ経済学シリーズ

授業者 稲垣 俊介

ログインしてください。

この授業に関係のないものを持っている人は、速やかに、下駄箱の上に置きに行ってください

講義のカリキュラム

次回も楽しみにしております。

